



生きもののすみかをのぞいた板二小 3 年生



★「すごく小さな穴の中に小さなダンゴムシがいたので、てきに見つからないようにしているんだな。」★「ミミズは土の下にいるから雨や風にあたらぬし、てきに見つかりづらいから食べものも取りやすい場所にいるのかもしれない。」★「ゲジゲジは土の下にかくれていたり、ダンゴムシはすみにかくれたりしてみつけにくかった。」★「アリやミミズなどの土の中にいる虫は一度土の中に入ってしまえば地上にいる敵はどこにいるかわからないからすごいと思った。」



生きものがすんでいる地域を自分ではどうするの？

- ▶冬眠中の虫はいじらずにそっとしておく。ハエなどの虫も大事な命なのでなるべくこころさない。(I・N)
- ▶もっと、生きものを増やしたい。生きものたちがよろこびそうだから。(K・Y)
- ▶もっと、自然などを増やしたらいいと思う。(I・E)
- ▶これからはもっと広くして、生きものたちをすみやすくする。チョウはキャベツの葉を用意する。アリはあんまり踏まないようにすればいいと思う。(W・K)
- ▶しぜんを増やして花をうえたり、木をうえたりして生きものたちがすみやすくしてきたい。(S・A)
- ▶虫を見つけてもおいはらうだけでこころさないようにする。(K・S)
- ▶すみやすいところをさがし、つかまえてそこへつれていく。生きものを大切にす。
- ▶いきものをみつけたら、つかまえて、家で育てる。(F・M)



背中の動物を当てるゲーム

板二小 3 年生の環境学習「そっとのぞいて見てごらん」(生きもののすみ場所調査)を11月24日(木)3・4 時間目に行いました。最後に書いたふりかえりには子どもたちの生きものへの温かい思いがあふれ、その素朴さ、やさしさに圧倒される思いがしました。(続き 2 ページ下へ)



大イチョウの前で—ときわ台保育園児

たからものさがし楽しかったよ

「ときわ台保育園」4～5 歳児・「向原保育園」5 歳児

「風の音、はしってきいたよ。」「風の音を聞いたよ。スツとした音。」

「鳥の声、うたをうたっているみたい。」「いいに*あい*のお花。」「く

ものすは虫のおうち！」

無風であったある日、園児たちはカードにある「風の音を聞く」という活動に、突然、走り出して「風がほっぺたをスーとさわったよ。」と大発見をしたのです。この発想、すごいでしょ。園児の自然大発見!! でした。

園児の感想 ★コウモリとガがおもしろかった。 ★探検が楽しかった。 ★木の実を見つけて楽しかった。 ★キロリ（木のおにごっこ）が楽しかった。 ★葉を拾って楽しかった。



向原保育園 5 歳児の発表

向原保育園さくら組担任 菅野先生—活動内容をよくきいていて、ゲームを楽しんだり、三人グループでの活動も協力し合って楽しんで取り組んでいた。子どもの発見・関心など、さらに深まり楽しむことが出来ました。公園を変え、同じような内容でクラスで取り組みました。

向原保育園園長 大久保佳美先生—「ただいまー！園長先生、これいい匂いがするよ!!」帰園とともに次々と“おみやげ”の葉っぱを差し出しながら報告してくれる子どもたち。きらきらした表情とはずむ声で楽しかったようすが伝わってきました。大人からの投げかけ方の違いで、子ども達の遊びが広がったり感性を引き出すことができたりすることを学び、職員にとっても大変有意義な時間となりました。他クラスにも広めていきたいと思っています。

ときわ台保育園バラ組担任 野口先生・渡邊先生—楽しみにして参加。意欲的に活動していた。多人数から少人数になる構成もよかった。小グループで役割があったことも関わりがスムーズにできた理由になった。自然の中に連れ出すことがよくあるが、意識して五感を使わせることがなかったので、よい経験となった。今回のプログラムを散歩保育の中に取り入れていこうと思った。

ときわ台保育園園長 西田美佐子先生—先日はネイチャーゲームのプログラムの実施をいただきましてありがとうございました。4・5 才クラスの子とも達も楽しく五感を使って学ばせていただきました。また、職員もいろいろなことを感じ、これからの保育に生かしていけるものをたくさん得ることが出来ました。また、このような機会がありましたら、ぜひ、参加させていただきたいと思います。



(1 ページ上より、板二小続き)

プログラムは、理科でも、「昆虫の育ち方、成虫の体、身の回りの生物の様子、その周辺の環境との関係についての考えを持つこと」(学習指導要領)を学ぶ学年として、生きものに関心が高く、観察力も付いてきている子ども達にふさわしいものです。当日は、はじめに「私はだれでしょう。」を行いました。背中に身近な生き物のカードをつけて、友だちへ質問を一つ一つしながら、自分はだれかを当てるゲームです。チョウ、ミズズ、セミ、カエル、いぬ、ねこ、カフトムシ、フクロウ、モグラ、ヘビなど、身近な生きものに迫る質問をして、正解しました。その後、フクロウとカラスというゲームをしてから、メインの「そっとのぞいてみてごらん」という、校内の生きもののおすまじをグループで探して、記録してくる活動です。3 年理



科で示されている その生きものと環境との関係について観察し、自分の考えを持つ学習を踏まえて、校内全体の生きものの名と観察場所を大校内地図にシールを貼り、春にも付け足していくという、発展的な総合学習です。

板二小 3 年生たちは、寒い季節に入った時期の生きもの探しは困難もあったにもかかわらず、鉢植えの下、石の下、草の中、そして、かぶせた土の塊の下から、たくさんの生きものが隠れて生きているのを発見。ミズを始め生きものへの並々ならぬ関心の強さには、脱帽でした。子どもというものの自然への接近力は、本来通り素晴らしいものだと痛感しました。

板橋 環境教育・学習シリーズ 板橋産 手前みそを作ろう 2011



昨年に引き続き、秋の大豆の収穫の後の時期、12月3日(土)エコポリスセンターと共催、同所でみそづくりを行い、50 キログラムの味噌を仕込みました。(昨年 30 キロ) 区立保育園の園長先生方が多数参加され熱心に体験されました。

今年は、みそづくりの前に、食農教育を提唱してきた東京学芸大学名誉教授・帝京短期大学名誉教授の佐島群巳先生に講演をしていただきました。

「幼児時代の脳の成長は急速で、特に、8 歳までに急速に成長する、この時期、臨界期＝何かを学習する際に決定的に重要な時期で、刷り込みされる時。環境とのかかわり、社会とのかかわりが大切である 食農教育は、育てる・食べるを連続的に体験学習し、自己表現力・自己実現力を形成し、生命を維持する力を育むことが出来る。自分は、小さい時土を食べた まずくはなかった。おかげでこれまで、丈夫で生きてきている。」



板橋産 手前みそを作ろう 2011 参加者の声

センスオブアースのニュースで見て興味がありました。昔私自身が子どもの頃田舎の庭先で祖母や母が作っていたのを思い出し久々にトライしてみたくになりました。豆を足でつぶす時の足の感覚、きかいでつぶすのではないさを感じました。手で混ぜる時、豆・麹の香りが何とも言えませんでした。(I・S)

物はどうして作られているかということに興味があり自己流でいろいろやっていた味噌は未経験でした。別々の匂いを混ぜていたら、不思議みその香りがしてびっくりしました。(T・T)

自分で作って職員に広めようと思いました。家庭で自分で作った味噌汁が出来たら夢のようです。楽しくできることが心に残りました。(E・T)

みそづくり 1 回やってみたかった。前回とうふづくりもとってもおいしかった。とっても簡単でびっくり。これなら毎年作れそうです。(T・M)

食にとっても興味があったので、参加しました。無添加のもので美味しく食べられました。自分が作ったみその 1 年後が楽しみです。(T・H)

昨年仕込んだみそが、いま、赤茶色に熟成し、たいへんおいしく出来上がっています。みそづくりと並行して、このみそで、豚汁を作り、参加者のみなさんに試食していただきました。みなさん「とてもおいしかった。」そうです。今年のおみそも、成功間違いナン!!

興味を持たれた方、来年も行います。実費で出前授業も行いますので、ご連絡ください。

S・O・E 活動報告 11 月

日 曜	内容
3 木	区立中台中文文化祭参観
4 金	ときわ台保打合せ 向原中環発表会参観
8 火	向原保育園打合せ
10 木	ときわ台保 4・5 児宝物さがし 平和公園で
12 土	都学校支援対策本部研修会参加
13 日	11 月号ニュース発行作業
15 火	向原保 5 歳児宝物さがしー向原公園で
17 木	板二小 4 年学校の木を決めよう授業 実施
20 日	SOEワークショップ実施
22 火	板七小 2 年秋の自然と 実施
24 木	板二小 3 年そっと覗いて 一生きもの探し
25 金	板二小 6 年食べ物はどこから
29 火	板七小産とうふづくり 4 年実施 板橋区プログラム部会カリキュラム部 会合同会出席

S・O・E 活動予定 12 月

日 曜	内容
2 金	板二小 5 年食べ物はどこから
3 土	SOE11 年度みそづくり共催
6 火	板二小 2 年カムフラージュ 好きな色をさがそう
8 木	蓮根小 5 組 カリキュラム実証授業
9 金	蓮根保育園 4・5 歳児担任打合せ
10 土	まちの環境発表会用掲示
11 日	まちの環境発表会口頭発表
12 月	環境教育プログラム部会
13 火	板五小 4 年 カリキュラム実証授業
16 金	蓮根保 5 歳児・保護者たからもの さがし 赤塚公園
18 日	12 月号ニュース発行作業
21 水	板二小 1 年 節水学習参観
24 木	SOE交流会

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町 4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp